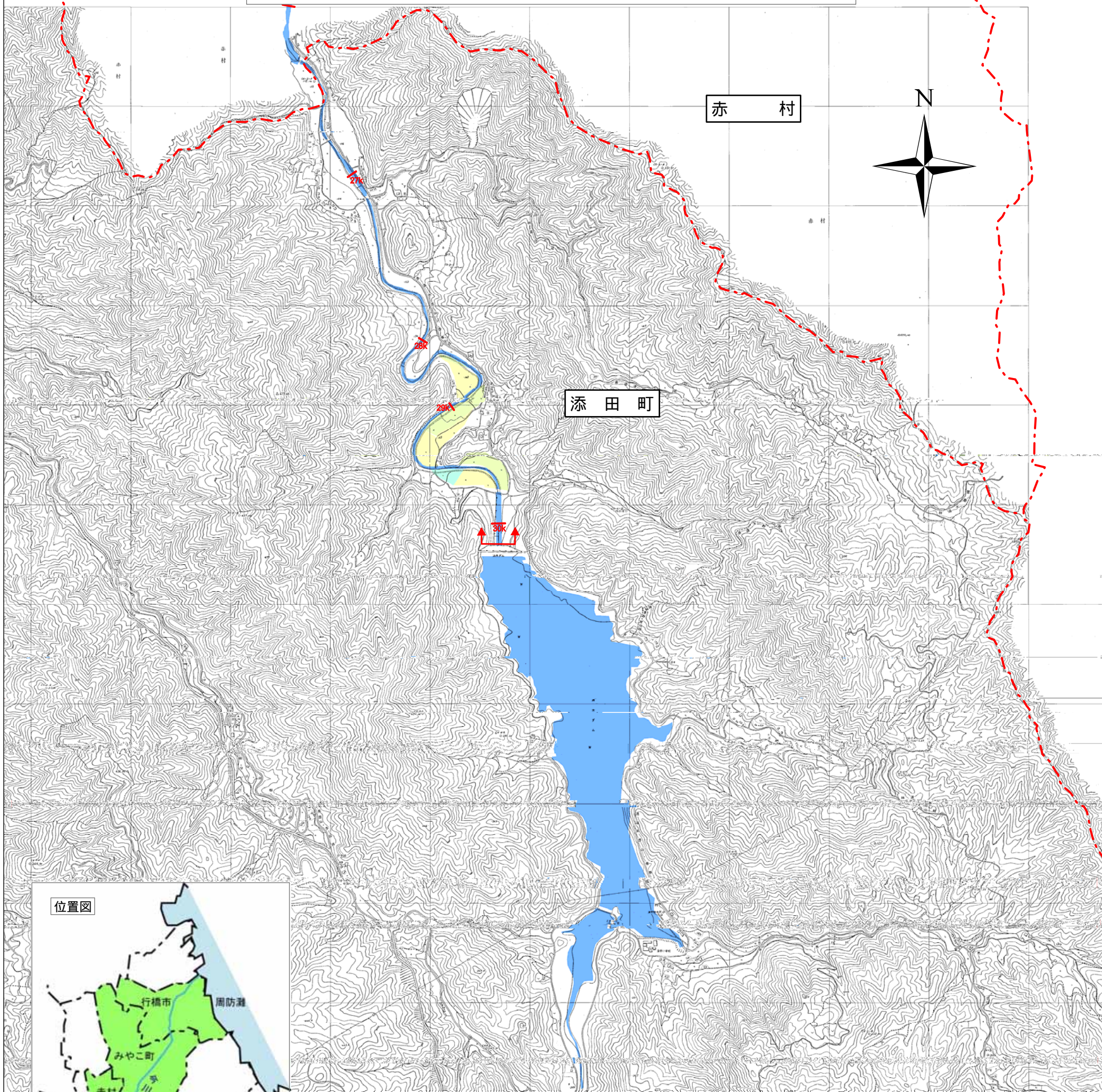


今川水系今川浸水想定区域図（添田町）



【凡例】

浸水した場合に想定される水深	
0.5m未満の区域	Yellow
0.5～1.0m未満の区域	Light Green
1.0～2.0m未満の区域	Light Blue
市町村界	Red dashed line
浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川	Blue line with red arrows

1. 説明文

- (1) この図は今川水系今川の水位周知区間*について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区間が浸水した場合に想定される水深、その他を示したものです。
- (2) この浸水想定区域等は、平成19年12月末時点の今川の河道の整備状況、油木ダム等の洪水調節施設の状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね75年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、今川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 福岡県 行橋土木事務所・田川土木事務所
- (2) 指定年月日 平成20年 8月29日
- (3) 告示番号 福岡県告示第1417号
- (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
- (5) 対象となる水位周知河川 今川水系今川 (実施区間:油木ダム～海)
- (6) 指定の前提となる計画の基本となる降雨 添田観測所 1日総雨量315mm、ピーク時の1時間に57.3mmの降雨がある場合で、昭和28年6月25日洪水時の降雨
- (7) 関係市町村 行橋市、みやこ町、赤村、添田町
- (8) その他の計算条件等 はん濫計算は、対象区域を50mメッシュに分割して、これを1単位として浸水位を計算しています。浸水想定区域や浸水深は、はん濫計算結果をもとに各計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や1/10,000の地形図上の地形、連続盛土構造物(道路や堤防など)を考慮して図化しています。

(*水位周知区間とは、避難判断水位(水防法第13条で規定される特別警戒水位)への水位の到達情報を通知および周知する区間です。)

